

【予防接種ワクチンの種類と接種間隔】

不活化ワクチン

- ・ヒブ
- ・小児用肺炎球菌
- ・B型肝炎
- ・五種混合
- ・日本脳炎
- ・DT
- ・子宮頸がん
- ・RS
- ・インフルエンザ
- ・帯状疱疹
- ・新型コロナ

生ワクチン

- ・BCG
- ・水痘
- ・MR
- ・帯状疱疹
- ・ロタ(経口)
- ・インフルエンザ(経鼻)
- ・おたふくかぜ

mRNAワクチン

- ・新型コロナ

- ①「注射生ワクチン」の接種後27日以上の間隔をおかなければ、「注射生ワクチン」の接種を受けることはできません。
- ②同一ワクチンを2回以上接種する場合の間隔は、それぞれの「接種間隔」の欄を参照してください。



予防接種の種類	対象者	標準的な接種間隔・接種期間など	接種回数	ワクチンの種類	
日本脳炎※2	1期 3歳以上7歳6か月未満	1回目 標準:6日~28日 原則:6日以上	2回目 標準:おおむね1年 原則:6か月以上	追加	不活化ワクチン
	2期 9歳以上13歳未満	小学4年生		1回	
DT (ジフテリア 破傷風混合)	11歳以上13歳未満	小学6年生		1回	不活化ワクチン
子宮頸がん 予防ワクチン	小学6年生から 高校1年生相当の 年齢の女子	15歳未満 シルガード9(9価)	1回目 標準:6か月以上 原則:1か月以上5か月未満	2回目 標準:おおむね1年 原則:3か月以上	
		15歳以上	1回目 標準:2か月 原則:1か月以上	2回目 標準:6か月以上 原則:3か月以上	3回目

※2)日本脳炎予防接種の勧奨差し控えにより、平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれ(20歳未満)で未接種分がある方は、特別対象者となりますので、健康増進課までお問い合わせください。

NEW **RSウイルスワクチン予防接種【定期接種】**
※令和8年4月1日から定期接種となりました。

<対象者> 妊娠28週0日から36週6日までの方
<接種回数> 妊娠ごとに1回
<実施医療機関> 市ウェブサイト等にてご確認ください
※予診票については、妊娠届出時にお渡します。

高齢者の肺炎球菌ワクチン予防接種【定期接種】

<対象> 65歳以上66歳未満
(66歳のお誕生日前日まで)
<自己負担> 5,000円

※過去に公費で肺炎球菌ワクチンを接種された方は対象外になります。
※65歳の誕生月の翌月に案内ハガキ(白色)を送付します。

65歳以上のインフルエンザ、
新型コロナワクチン予防接種は
「広報はびきの」等で
お知らせします。

高齢者帯状疱疹ワクチン予防接種【定期接種】
※令和7年4月1日から定期接種となりました。

<対象者>
定期接種は本来、**65歳の方のみが対象**ですが、当初5年間は経過措置により下表に該当される方も対象となります。
ただし、**下表に該当される方が対象者となるのは今年度のみ**となります。

対象生年月日
昭和36年4月2日 ~ 昭和37年4月1日
昭和31年4月2日 ~ 昭和32年4月1日
昭和26年4月2日 ~ 昭和27年4月1日
昭和21年4月2日 ~ 昭和22年4月1日
昭和16年4月2日 ~ 昭和17年4月1日
昭和11年4月2日 ~ 昭和12年4月1日
昭和6年4月2日 ~ 昭和7年4月1日
大正15年4月2日 ~ 昭和2年4月1日

<自己負担額と接種回数>
生ワクチン
接種回数 : 1回
自己負担額 : 4,000円
不活化ワクチン
接種回数 : 2回(接種間隔は通常2か月から6か月)
自己負担額 : 11,000円(1回あたり)

<接種期限> 令和9年3月31日まで

健康はびきの21

健康はびきの21計画(第3期)、
食育推進計画(第3次)、
自殺対策計画(第2次) 一部抜粋

重点分野
栄養・食生活

早寝・早起き・朝ごはん!
みんなで朝食を食べよう!

みんなで食べると
おいしいね

重点分野
運動・身体活動

歩幅を広くして、早く歩いて+10!
歩いたり、自転車で移動して+10!
ながらストレッチで+10!

プラス
今より+10分

重点分野
休養・こころの健康

十分な睡眠をとろう!
ストレス発散につとめよう!

おはよー
ぼーちり快眠♪

たばこ

受動喫煙の害を知ろう!
家族や周囲の人への配慮が必要ですよ!

歩きタバコも
ダメですよ~!

喫煙は変です

アルコール

適量を守ろう!(1日の目安)

を性中高齢者の
適量はこの半分

ビール 中ビン1本(500ml)
ワイン グラス2杯弱(200ml)
日本酒 1合(180ml)
焼酎 100ml

歯の健康

歯みがきの
習慣をつけて
しっかりかもう!

よくかむことは
健康への道?

**みんなで広げよう
健康づくり**

定期的な健診を受けよう!

特定健診
がん検診
歯科健診
骨の検診を
受けましょう

市ウェブサイトはこちら